



平成26年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年8月8日

上場会社名 株式会社CEホールディングス 上場取引所 東 札
 コード番号 4320 URL http://www.ce-hd.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉本 惠昭
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理担当 (氏名) 松澤 好隆 TEL 011(861)1600
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第3四半期の連結業績（平成25年10月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第3四半期	5,826	14.5	662	29.1	695	25.8	395	13.7
25年9月期第3四半期	5,086	63.0	513	—	552	—	347	—

(注) 包括利益 26年9月期第3四半期 384百万円 (12.3%) 25年9月期第3四半期 342百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第3四半期	110.98	105.98
25年9月期第3四半期	97.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年9月期第3四半期	5,685	3,682	64.3
25年9月期	5,589	3,351	59.1

(参考) 自己資本 26年9月期第3四半期 3,653百万円 25年9月期 3,304百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	0.00	—	15.00	15.00
26年9月期	—	0.00	—		
26年9月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

(注) 25年9月期期末配当の内訳 普通配当 10円00銭 記念配当 5円00銭

3. 平成26年9月期の連結業績予想（平成25年10月1日～平成26年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,941	16.9	731	15.1	765	11.8	463	7.8	129.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年9月期3Q	3,703,700株	25年9月期	3,703,700株
② 期末自己株式数	26年9月期3Q	140,064株	25年9月期	140,064株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年9月期3Q	3,563,636株	25年9月期3Q	3,563,672株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動が生じたものの、金融・財政政策の効果などにより、企業の設備投資や個人消費は改善傾向にあり、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

ソフトウェア業界におきましては、市場競争の激化が続くものの、全般的に需要は回復傾向にあり、改善の兆しが見え始めております。

当社グループが事業を展開しております医療情報システム業界におきましては、本年4月の診療報酬改定が全体で+0.1%となるものの、消費税率引き上げに伴う医療機関のコスト増補填分を除いた実質ではマイナス改定となり、医療機関を取り巻く環境は厳しい状況が続いております。一方、本年6月の「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」（医療介護総合推進法）成立により、医療提供体制の改革のための新たな財政支援制度が創設され、医療の質向上や効率化に寄与する統合系医療情報システムの普及が進む中、同基金を活用した医療ICT関連事業の推進、とりわけ電子カルテシステムや地域医療連携システムの普及推進が期待されております。

このような状況の中、当社グループの主力事業会社である㈱シーエスアイにおきましては、受注獲得に向けた営業活動に取り組むとともに、医療機関への直接販売の強化並びに販売提携先との連携強化により、作業の効率性を高めながら受注物件に対する導入作業を行った結果、主力の電子カルテシステム「MI・RA・Is/PX（ミライズピーエックス）」を中心とした販売が好調に推移いたしました。

顧客満足度向上のための施策といたしましては、「MI・RA・Isユーザーフォーラム[1]」の活動等を通じてユーザーニーズの把握に努め、製品の機能強化に取り組むとともに、品質マネジメントシステムの構築を継続的に推進し、顧客満足度の向上並びに製品・サービスの品質確保を図ってまいりました。

コンシューマ向け世代別サービスにつきましては、連結子会社である㈱エル・アレンジ北海道及び㈱CEリブケアの2社において取り組んでまいりました。

なお、本年6月に受託システム開発を主な事業とする㈱ディージェーワールドを新たに連結子会社（当社持株比率100%）とし、当社グループの受託システム開発の拡大を図るとともに、パッケージ開発に必要な技術ノウハウの内製化に寄与すべく取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、電子カルテシステム事業における販売が順調に推移したことから、売上高5,826百万円（前年同四半期比14.5%増）、利益面におきましては、電子カルテシステムを中心とした売上高が、同期間の固定費を大きく上回ったことから、売上総利益1,355百万円（前年同四半期比19.2%増）、営業利益662百万円（前年同四半期比29.1%増）、経常利益695百万円（前年同四半期比25.8%増）、四半期純利益395百万円（前年同四半期比13.7%増）となりました。また、受注状況は、主力の電子カルテシステム「MI・RA・Is/PX」の受注が順調に推移し、受注高5,794百万円（前年同四半期比20.7%増）、受注残高2,696百万円（前年同四半期比12.8%増）となりました。

なお、前連結会計年度末まで、㈱エル・アレンジ北海道及び㈱CEリブケアの販売する商品・サービス等のうち、注文を受けずに直接販売する商品・サービス等を受注高に含めておりましたが、当第3四半期連結累計期間より受注販売に係るもののみを含めるよう変更しており、前年同四半期比は変更後の数値で算定しております。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

〔電子カルテシステム事業〕

電子カルテシステム事業は、㈱シーエスアイにおきまして、地域中核病院に対する大型案件を中心に、主力の電子カルテシステム「MI・RA・Is/PX」などの医療情報システムの受注・販売ともに好調に推移いたしました。また、健康・医療ソリューション「Health Clover（ヘルスクローバー）[2]」につきましては、医療現場のニーズに応えるべく、さらなる機能拡張やサービス充実を図り、「電子カルテ/地域医療連携ソリューション」とともに、政府諸施策を見据えながら販売活動に取り組んでまいりました。

医療情報システムの受託開発につきましては、地域中核病院を中心に継続的に日本電気㈱から受注し開発・導入作業を行ってまいりました。

以上の結果、受注高5,771百万円（前年同四半期比20.2%増）、受注残高2,696百万円（前年同四半期比12.8%増）、売上高5,765百万円（前年同四半期比14.3%増）、セグメント利益785百万円（前年同四半期比2.7%増）となりました。

なお、セグメント利益については平成25年4月の持株会社化に伴う会社分割により、前年同四半期と利益の算定方法を変更しております。詳細は9ページ「3. 四半期連結財務諸表（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」をご覧ください。

[その他]

その他は、コンシューマ向け世代別サービスとして、高齢者向け安否/安心連絡システム「安タッチ(あんタッチ) [3]」を中心に、高齢者向け医療・健康関連システムの提供を推進したほか、妊娠・出産・育児期のヘルスケアサービスの展開を推し進め、女性のためのこだわり検索サイト「MocosukuWoman(モコスクウーマン) [4]」と子育て支援iOS向けアプリ「もこすく[5]」のサービス拡大を図ってまいりました。

以上の結果、受注高22百万円(前年同四半期受注高なし)、受注残高なし(前年同四半期受注残高なし)、売上高60百万円(前年同四半期比45.8%増)、セグメント損失104百万円(前年同四半期セグメント損失31百万円)となりました。

なお、受注高及び前年同四半期受注高は、前述のとおり変更後の数値により記載しております。

- [1] MI・RA・I sユーザーフォーラム ㈱シーエスアイの電子カルテシステム「MI・RA・I sシリーズ」のユーザーが主体となって運営している情報交換の場であり、より使いやすく、充実したシステムへと発展することを目指し、研究会や見学会などの活動を定期的に行っている。
- [2] Health Clover (ヘルスクローバー) 医療機関の情報システムと患者・その家族の携帯電話・モバイル情報端末を結ぶ相互コミュニケーションサービス。医療機関からは各種案内や健康コンテンツ等の提供を行う。患者は診療予約ができる。また、電子カルテシステムと連携し、処方履歴の参照等も可能となる。
- [3] 安タッチ(あんタッチ) 高齢者向け安否連絡システム。高齢者がiPadの画面ボタンをタッチするだけで、離れて暮らす家族等へ、安否情報(日々の見守り情報)をメールで連絡することができる。
- [4] Mocosuku Woman (モコスクウーマン) 「妊娠」「出産」「不妊」をキーワードに、女性に特化した医療機関情報を提供するサービス。専門的な治療法や施術による検索機能や、サービスやアメニティの条件で検索できる『こだわり検索』など、独自かつ深掘りしたコンテンツを提供している。
- [5] もこすく 妊娠・育児期の女性をサポートする子育て支援iOS向けアプリケーション。スマートフォンやタブレットPCを活用し、手軽に妊娠中の体調管理や乳幼児の育児記録の管理ができるほか、妊娠・出産・育児に必要な情報を得ることができる。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は5,685百万円となり、前連結会計年度末に比べ96百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が625百万円、その他流動資産が110百万円増加し、受取手形及び売掛金が446百万円、仕掛品が234百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は2,003百万円となり、前連結会計年度末に比べ234百万円減少いたしました。これは主にその他流動負債が303百万円増加し、支払手形及び買掛金が359百万円、長期借入金が155百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は3,682百万円となり、前連結会計年度末に比べ330百万円増加いたしました。これは主に剰余金の配当により53百万円減少したものの、四半期純利益を395百万円計上したことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

わが国経済の今後の見通しに関しましては、当面消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により一部弱さが残るものの、次第にその影響が薄れ、緩やかに回復していくことが期待されます。

当社グループの主力事業である電子カルテシステム市場におきましては、厚生労働省が推進する医療制度改革の進展や本年4月の診療報酬改定などが市場規模拡大の進度に影響を与えることが予想されます。

当社グループはこのような環境の中、㈱シーエスアイにおきまして、品質向上・顧客満足度向上のため、品質マネジメントシステムのさらなる推進を図るとともに、「MI・RA・I sユーザーフォーラム」を通じたユーザーニーズの把握や、現場医師からの意見・監修等により、主力製品である「MI・RA・I s/PX」を中心に継続的な機能強化を行ってまいります。また、販売面におきましては、直接販売に加え、販売提携先との連携を強化することにより、積極的な受注活動を展開するとともに、受注物件の導入作業を進めてまいります。

㈱エル・アレンジ北海道につきましては、「安タッチ」などの高齢者向け医療・健康関連システムの拡販に努めてまいります。なお、平成26年8月1日付で㈱エル・アレンジ北海道の配置薬事業、健康食品販売事業を㈱三洋エル・アレンジに譲渡しておりますが、本譲渡に伴う当連結会計年度業績及びセグメント利益に与える影響は軽微です。

㈱CEリブケアにつきましては、価値の高いヘルスケアコンテンツサービスの提供を目指し、子育て支援iOS向けアプリ「もこすく」のサービス充実に加え、女性のためのこだわり検索サイト「Mocosuku Woman」のアクセス数の増加及びブランディングを図り、これらサービスと相乗効果の見込める企業等との連携なども進めることにより、早期の黒字化を目指してまいります。

当社グループは、これらのコンシューマ向け世代別サービスを新たな柱とすべく、今後も業務提携等を通じた当該サービス拡大への取り組みを積極的に推進してまいりたいと考えております。

また、新たに連結子会社となった㈱ディージェーワールドは、本年6月末現在で従業員数6名の会社ですが、今後は受託システム開発事業の拡大に向け、積極的な営業活動の推進と組織の増強を図ってまいりたいと考えております。

以上により、平成26年9月期の連結業績見通しにつきましては、平成26年4月21日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,617,010	2,242,544
受取手形及び売掛金	906,014	459,746
商品及び製品	15,984	17,086
仕掛品	978,071	743,900
原材料及び貯蔵品	930	1,669
その他	112,870	223,182
貸倒引当金	△13,745	△1,881
流動資産合計	3,617,137	3,686,248
固定資産		
有形固定資産	362,946	395,470
無形固定資産		
その他	125,678	94,180
無形固定資産合計	125,678	94,180
投資その他の資産		
関係会社株式	1,148,603	1,134,951
その他	335,383	375,021
貸倒引当金	△430	△440
投資その他の資産合計	1,483,556	1,509,533
固定資産合計	1,972,181	1,999,184
資産合計	5,589,318	5,685,433
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	971,422	612,181
1年内返済予定の長期借入金	220,708	210,234
未払法人税等	237,049	187,378
賞与引当金	55,295	84,540
その他	183,266	486,348
流動負債合計	1,667,742	1,580,682
固定負債		
長期借入金	522,570	377,407
その他	47,348	45,010
固定負債合計	569,918	422,417
負債合計	2,237,660	2,003,100

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,136,590	1,136,590
資本剰余金	1,155,807	1,155,807
利益剰余金	1,081,372	1,423,409
自己株式	△76,008	△76,008
株主資本合計	3,297,762	3,639,799
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,648	14,175
その他の包括利益累計額合計	6,648	14,175
新株予約権	3,180	3,180
少数株主持分	44,067	25,178
純資産合計	3,351,657	3,682,332
負債純資産合計	5,589,318	5,685,433

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
売上高	5,086,142	5,826,151
売上原価	3,948,863	4,470,689
売上総利益	1,137,278	1,355,461
販売費及び一般管理費	623,840	692,495
営業利益	513,438	662,966
営業外収益		
受取利息	374	357
受取配当金	2,984	3,158
受取保険金	—	6,594
投資事業組合運用益	431	1,099
持分法による投資利益	39,116	21,548
その他	3,845	5,126
営業外収益合計	46,752	37,885
営業外費用		
支払利息	6,351	5,053
その他	945	23
営業外費用合計	7,297	5,076
経常利益	552,893	695,774
特別損失		
固定資産除却損	—	5,207
特別損失合計	—	5,207
税金等調整前四半期純利益	552,893	690,567
法人税、住民税及び事業税	217,252	302,878
法人税等調整額	113	11,085
法人税等合計	217,365	313,964
少数株主損益調整前四半期純利益	335,527	376,602
少数株主損失(△)	△12,431	△18,888
四半期純利益	347,958	395,491
少数株主損失(△)	△12,431	△18,888
少数株主損益調整前四半期純利益	335,527	376,602
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,495	7,526
その他の包括利益合計	6,495	7,526
四半期包括利益	342,022	384,129
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	354,453	403,018
少数株主に係る四半期包括利益	△12,431	△18,888

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 (注) 3
	電子カルテ システム 事業				
売上高					
外部顧客への売上高	5,044,338	41,803	5,086,142	—	5,086,142
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,007	1,007	△1,007	—
計	5,044,338	42,811	5,087,149	△1,007	5,086,142
セグメント利益又は損失(△)	764,964	△31,253	733,710	△220,272	513,438

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通信機器販売事業、配置薬事業、健康食品販売事業及びヘルスケア関連情報サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△220,272千円は、セグメント間取引消去35,046千円及び報告セグメントに帰属しない一般管理費△255,318千円であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 第2四半期連結累計期間までの㈱シーエスアイ(現㈱CEホールディングス)の一般管理費は、一部の研究開発費を除き全額をセグメントに帰属しない一般管理費として調整額に含めておりましたが、当第3四半期連結会計期間からは持株会社体制移行に伴う会社分割により、「電子カルテシステム事業」を行う㈱シーエスアイ(新設会社)の一般管理費は「電子カルテシステム事業」のセグメント利益の計算に含めております。当第3四半期連結累計期間において、「電子カルテシステム事業」のセグメント利益の計算に含めた一般管理費の金額は94,993千円であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成25年10月1日 至 平成26年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 (注) 3
	電子カルテ システム 事業				
売上高					
外部顧客への売上高	5,765,190	60,960	5,826,151	—	5,826,151
セグメント間の内部売上高又は振替高	480	195	675	△675	—
計	5,765,670	61,156	5,826,827	△675	5,826,151
セグメント利益又は損失 (△)	785,375	△104,503	680,872	△17,906	662,966

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通信機器販売事業、配置薬事業、健康食品販売事業及びヘルスケア関連情報サービス事業等を含んでおります。なお、平成26年8月1日付で㈱三洋エル・アレンジに対し㈱エル・アレンジ北海道の配置薬事業、健康食品販売事業を譲渡しております。

- 2 セグメント利益又は損失 (△) の調整額△17,906千円は、セグメント間取引消去88,251千円、報告セグメントに帰属しない一般管理費△93,725千円及びのれん償却額△12,432千円であります。
- 3 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 4 前第2四半期連結累計期間までの㈱シーエスアイ（現㈱C Eホールディングス）の一般管理費は、一部の研究開発費を除き全額をセグメントに帰属しない一般管理費として調整額に含めておりましたが、前第3四半期連結会計期間からは持株会社体制移行に伴う会社分割により、「電子カルテシステム事業」を行う㈱シーエスアイ（新設会社）の一般管理費は「電子カルテシステム事業」のセグメント利益の計算に含めております。当第3四半期連結累計期間において、「電子カルテシステム事業」のセグメント利益の計算に含めた一般管理費の金額は275,656千円であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年6月30日)	前年同四半期比(%)
電子カルテシステム事業(千円)	4,129,555	104.4
その他(千円)	59,608	—
合計(千円)	4,189,163	105.8

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 生産実績は当期総製造費用で表示しております。
 3 セグメント間の取引については相殺消去しております。

② 受注状況

当第3四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年6月30日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
電子カルテシステム事業	5,771,824	120.2	2,696,869	112.8
その他	22,355	—	—	—
合計	5,794,179	120.7	2,696,869	112.8

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 セグメント間の取引については相殺消去しております。
 3 前連結会計年度末まで、㈱エル・アレンジ北海道及び㈱C Eリブケアの販売する商品・サービス等のうち、注文を受けずに直接販売する商品・サービス等を「その他」の受注高に含めておりましたが、当第3四半期連結累計期間より受注販売に係るもののみを含めるよう変更しており、前年同四半期比は変更後の数値で算定しております。なお、前第3四半期連結累計期間の「その他」に含まれる受注高は一千円(変更前41,803千円)であります。

③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年6月30日)	前年同四半期比(%)
電子カルテシステム事業(千円)	5,765,190	114.3
その他(千円)	60,960	145.8
合計(千円)	5,826,151	114.5

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 セグメント間の取引については相殺消去しております。
 3 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年6月30日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院	60,702	1.2	887,151	15.2
日本電気㈱	529,702	10.4	863,420	14.8

本表の金額には、消費税等は含まれておりません。